



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 株式会社カナミックネットワーク 上場取引所 東
コード番号 3939 URL <https://www.kanamicnetwork.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 拓真
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部部長 (氏名) 佐藤 正義 (TEL) 03-5798-3955 (代表)
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	4,627	15.2	1,836	25.1	1,504	29.5	1,519	30.7	1,016	27.5
2025年9月期第3四半期	4,017	10.0	1,468	14.4	1,162	13.9	1,162	13.3	797	14.0

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 1,072百万円 (30.9%) 2025年9月期第3四半期 819百万円 (16.4%)

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費（有形・無形固定資産）＋のれん償却額

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	21.42	—
2025年9月期第3四半期	16.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	7,429	5,365	72.2
2025年9月期	6,542	4,649	71.1

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 5,365百万円 2025年9月期 4,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	7.50	7.50
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期（予想）				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,350	15.4	2,500	23.5	2,050	27.5	2,050	27.1	1,370	23.3	28.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費（有形・無形固定資産）＋のれん償却額

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外：ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	48,132,000株	2025年9月期	48,132,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	674,706株	2025年9月期	674,706株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	47,457,294株	2025年9月期3Q	47,457,294株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(表示方法の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しているものの、中東情勢の影響を注視する必要があります。

当社グループを取り巻く環境におきましては、超高齢社会の到来に伴い介護費、介護保険サービス利用者数及びサービス提供事業者数は増加し、介護事業全体の底上げが続いております。2024年度の介護保険制度改正では、医療・介護をつなぐ地域包括ケアシステムの更なる深化・推進やLIFEを活用した科学的介護に加え、リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組等による自立支援・重度化防止など、医療・介護の連携と介護事業の効率化がより一層求められる一方で、介護職員の処遇改善や生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり（医療DX、介護DXに関わる加算）など、介護事業の持続可能性もあわせて求められる改正となっております。

このような状況のもと、当社グループは、医療・介護をつなぐ地域包括ケアを実現するシステムを提供していることから、各省庁との共同プロジェクトに参加し、国の政策と同じ方向性をもつシステム開発会社となるよう努めるとともに、介護保険制度改正に対応する準備を整え、継続して適時にシステム改修を行い、システム利用者の負担軽減により、ユーザーの利便性の向上を図っております。総務省の「IoTサービス創出支援事業」の実証実験を通じて「カナミッククラウドサービス」を基軸とした介護における各種データの活用連携を進めるとともに、「東京都多職種連携ポータルサイト」を通じて、従来の市区町村に比べてより広範囲な都道府県単位での在宅療養推進体制に寄与するなど、当社グループの「カナミッククラウドサービス」で培った医療・介護連携のノウハウが地域の医療・介護連携に貢献しております。それらの高齢者支援事業とあわせ、多世代包括ケアの実現に向けた取組として「子育て支援システム」を通じて自治体の子育て支援事業の効率運用に寄与しております。

さらに、総務省「シンガポールにおける医療・介護・健康情報共有システム展開に向けた実証の請負」事業を完了し、高齢化が急速に進むシンガポールにおいて、日本の先進的な医療・介護・健康分野のDXモデルがシンガポールに適用可能かつ有用であることを検証いたしました。加えて、日本・シンガポール両国首相による共同声明「日本・シンガポール戦略的パートナーシップ」に基づき、シンガポールの現地高齢者ケア事業者と提携し、AIを活用したケアソリューションの共同開発に向けたパイロット事業を開始するMOUを締結いたしました。これにより、当社が日本で培ったAIを活用した介護業務ソリューションをシンガポールの介護現場に導入し、現場スタッフが患者ケアにより注力できる環境を構築していくとともに、将来的にはシンガポールを拠点として、ASEAN各国が直面する超高齢化社会における医療・介護人材不足や医療費増大といった社会課題の解決に貢献してまいります。

また、当社グループのシステムがプラットフォーム化に対応していくに伴い、取得される患者・要介護者等の情報をビッグデータとして解析し、国や自治体、保険会社等が必要としているエビデンスを見つけ出すAIサービス等の展開を通じて医療・介護分野における地域連携をさらに推進させ、患者・要介護者、全ての医療・介護事業者にソリューションを提供するための研究活動も実施しております。

当社グループの成長戦略「Kanamic vision2035」では、既存事業のオーガニック成長投資、戦略的M&A、株主還元のパラメータをとりながら、世界の医療・介護DXをリードする真のグローバル企業になるべく、各種施策を実行しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高4,627,449千円（前年同期比610,012千円増、15.2%増）、営業利益1,504,909千円（前年同期比342,847千円増、29.5%増）、経常利益1,519,737千円（前年同期比356,872千円増、30.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,016,649千円（前年同期比219,382千円増、27.5%増）となりました。

セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

(医療・介護クラウドプラットフォーム事業)

当セグメントのサービスごとの売上高は次のとおりであります。

i カナミッククラウドサービス

本サービスにつきましては、ストックビジネスをメインとしており、既存顧客のストック部分をベースに、継続的な新規顧客の獲得を続けた結果、売上高は2,463,369千円（前年同期比232,329千円増、10.4%増）となりました。

ii プラットフォームサービス

本サービスにつきましては、大手介護事業者からの依頼によるホームページ構築業務や公益財団法人介護労働安定センターを通じた介護事業社向けホームページの受託制作、運営・管理が安定した収益基盤となっており、また介護関連情報を提供するインターネット広告サービスや介護業界における人材マッチングサービスなどが好調に推移した結果、売上高は368,337千円（前年同期比24,435千円増、7.1%増）となりました。

iii その他サービス

本サービスにつきましては、大口顧客向けカスタマイズ開発の受託などにより、売上高は238,834千円（前年同期比159,914千円増、202.6%増）となりました。

これらの結果セグメント売上高は3,070,541千円（前年同期比416,678千円増、15.7%増）、セグメント利益は1,414,800千円（前年同期比307,357千円増、27.8%増）となりました。

（健康寿命延伸事業）

当セグメントのサービスごとの売上高は次のとおりであります。

i 健康寿命延伸サービス

本サービスにつきましては、24時間営業のフィットネスジムの運営・フランチャイズ展開、及びそれらリアル店舗を通じた健康寿命延伸に資するサービスの提供をしており、直営店においては既存店舗の利用者が順調に増加するとともに新規出店による店舗と利用者が増加したことに加え、フランチャイズにおいても新規出店による売上が増加した影響により、売上高は1,050,315千円（前年同期比217,772千円増、26.2%増）となりました。

当セグメントは上記のiサービスのみであり、セグメントの売上高は健康寿命延伸サービスの売上高と同額となります。また、店舗運営のDX化など店舗運営費の削減に努めた結果、セグメント利益は166,166千円（前年同期比76,640千円増、85.6%増）となりました。

（ソリューション開発事業）

当セグメントのサービスごとの売上高は次のとおりであります。

i ソリューションサービス

本サービスにつきましては、Ruby言語を用いたWebサービス企画・開発に関するサービスに加え、THE WORLD MANAGEMENT PTE LTDの販売管理や在庫管理、会計管理などのバックエンドシステムの導入コンサルティングとメンテナンスサービスを提供しております。同サービスが堅調に推移する一方、AIサービスの機能強化を図るため、当社グループ内でのエンジニア配置を見直した結果、売上高は506,592千円（前年同期比24,438千円減、4.6%減）となりました。

当セグメントは上記のiサービスのみであり、ソリューションサービスの売上高から売上原価や販売費及び一般管理費を差引いたセグメント損失は、一部の案件でコストが先行したことなどから、2,141千円（前年同期は62,852千円の利益）となりました。

（利益の概況）

売上高が増加したことに伴い、売上原価も前年同期に比べ197,656千円増加し、1,632,582千円となりました。この結果、売上総利益は2,994,867千円（前年同期比412,356千円増、16.0%増）となりました。また、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ69,509千円増加し、1,489,957千円となりました。この結果、営業利益は1,504,909千円（前年同期比342,847千円増、29.5%増）となりました。

営業外収益は、前年同期に比べ10,800千円増加し23,599千円となり、営業外費用は、前年同期に比べ3,225千円減少し、8,771千円となりました。この結果、経常利益は1,519,737千円（前年同期比356,872千円増、30.7%増）となりました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益は1,519,737千円（前年同期比356,872千円増、30.7%増）、法人税等合計が前年同期に比べ137,490千円増加し、503,088千円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,016,649千円（前年同期比219,382千円増、27.5%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ887,450千円増加し、7,429,688千円となりました。これは主に、営業活動による利益の積み上げにより現金及び預金が768,595千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ170,778千円増加し、2,063,711千円となりました。これは主に、返済により長期借入金が199,847千円減少した一方で、一部顧客からの前受金の受領に伴い契約負債が317,600千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ716,672千円増加し、5,365,976千円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により355,929千円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,016,649千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月13日に公表いたしました2026年9月期連結業績予想については、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,327,111	4,095,707
売掛金	212,489	176,565
契約資産	2,248	—
商品	763	850
仕掛品	11,334	11,347
貯蔵品	332	2,707
前払費用	88,223	108,010
その他	120,374	166,543
貸倒引当金	△6,464	△8,746
流動資産合計	3,756,413	4,552,985
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	670,666	724,989
車両運搬具（純額）	4,697	—
工具、器具及び備品（純額）	248,005	221,208
リース資産（純額）	73,242	96,981
有形固定資産合計	996,612	1,043,178
無形固定資産		
ソフトウェア	568,126	608,534
ソフトウェア仮勘定	95,434	110,906
のれん	793,637	750,493
その他	76	76
無形固定資産合計	1,457,274	1,470,011
投資その他の資産		
繰延税金資産	63,284	78,919
敷金及び保証金	217,789	233,639
その他	51,307	52,078
貸倒引当金	△445	△1,124
投資その他の資産合計	331,937	363,512
固定資産合計	2,785,824	2,876,702
資産合計	6,542,237	7,429,688

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,400	30,975
1年内償還予定の社債	15,000	—
1年内返済予定の長期借入金	274,428	268,454
リース債務	15,039	20,948
未払金	119,549	140,964
未払費用	85,939	49,315
未払法人税等	309,353	290,881
未払消費税等	78,263	125,391
契約負債	290,087	607,688
賞与引当金	64,912	83,357
資産除去債務	16,000	16,000
その他	55,021	83,778
流動負債合計	1,359,996	1,717,755
固定負債		
長期借入金	306,009	106,162
リース債務	47,201	62,654
繰延税金負債	76,431	70,236
資産除去債務	102,495	106,103
その他	800	800
固定負債合計	532,937	345,955
負債合計	1,892,933	2,063,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	192,060	192,060
資本剰余金	132,060	132,060
利益剰余金	4,709,726	5,370,445
自己株式	△404,938	△404,938
株主資本合計	4,628,907	5,289,627
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	20,396	76,349
その他の包括利益累計額合計	20,396	76,349
純資産合計	4,649,304	5,365,976
負債純資産合計	6,542,237	7,429,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,017,437	4,627,449
売上原価	1,434,926	1,632,582
売上総利益	2,582,510	2,994,867
販売費及び一般管理費	1,420,448	1,489,957
営業利益	1,162,062	1,504,909
営業外収益		
受取利息	1,729	3,428
物品売却益	1,537	—
受取手数料	7,002	7,071
固定資産売却益	—	6,091
その他	2,528	7,007
営業外収益合計	12,798	23,599
営業外費用		
支払利息	4,663	4,289
為替差損	478	1,670
固定資産除却損	6,720	2,718
その他	134	93
営業外費用合計	11,996	8,771
経常利益	1,162,864	1,519,737
税金等調整前四半期純利益	1,162,864	1,519,737
法人税、住民税及び事業税	367,858	524,917
法人税等調整額	△2,261	△21,829
法人税等合計	365,597	503,088
四半期純利益	797,266	1,016,649
親会社株主に帰属する四半期純利益	797,266	1,016,649

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	797,266	1,016,649
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	22,186	55,953
その他の包括利益合計	22,186	55,953
四半期包括利益	819,452	1,072,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	819,452	1,072,602
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（表示方法の変更）

（四半期連結貸借対照表）

前連結会計年度において、「無形固定資産」の「ソフトウェア」に含めておりました「ソフトウェア仮勘定」は、表示の明瞭性を高める観点から、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「無形固定資産」の「ソフトウェア」663,560千円は「ソフトウェア」568,126千円および「ソフトウェア仮勘定」95,434千円として組み替えております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療・介護ク ラウドプラッ トフォーム事 業	健康寿命延伸 事業	ソリューショ ン開発事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	2,653,862	832,543	531,031	4,017,437	—	4,017,437
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,058	—	29,765	36,824	△36,824	—
計	2,660,920	832,543	560,797	4,054,261	△36,824	4,017,437
セグメント利益	1,107,443	89,526	62,852	1,259,822	△97,759	1,162,062

(注) 1. セグメント利益の調整額△97,759千円にはセグメント間取引消去9,204千円、のれんの償却額△61,180千円、投資に伴う諸費用△45,782千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの資産に関する事項

当中間連結会計期間において、THE WORLD MANAGEMENT PTE LTDの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。THE WORLD MANAGEMENT PTE LTDを連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ソリューション開発事業」において 323,010千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソリューション開発事業」において、当中間連結会計期間にTHE WORLD MANAGEMENT PTE LTDの株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。これに伴うのれんの増加額は、413,456千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療・介護クラウドプラットフォーム事業	健康寿命延伸事業	ソリューション開発事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,070,541	1,050,315	506,592	4,627,449	—	4,627,449
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,488	—	111,349	114,837	△114,837	—
計	3,074,029	1,050,315	617,941	4,742,287	△114,837	4,627,449
セグメント利益又は損失(△)	1,414,800	166,166	△2,141	1,578,825	△73,916	1,504,909

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△73,916千円にはセグメント間取引消去△183千円、のれんの償却額△73,732千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	245,560千円	258,155千円
のれんの償却額	61,180	73,732

(重要な後発事象)

該当事項はありません。